

Ⅲ 総務委員会の事業計画

1. 活動方針

日本ばね工業会は平成24年4月一般社団法人へ移行し、平成26年度末で公益目的支出計画を完了した。

一方、正会員会費収入はリーマンショック前をピークとして漸減傾向を顕著にしている。平成28年度の収入見込みはピークから1千万円(15%)減少しており、今後の事業活動について検討すべき時期にきていると言える。

今後は、自主運営移行の機会を捉え、国内最大のばね事業者団体としてばね産業の進むべき方向、それを実現するために一般法人として取り組むべき事業の在り方及び団体運営の在り方を取り纏め理事会へ提言する。

2. 活動の詳細

2.1 創立70周年への準備について

昭和23年(1948)3月25日を創立の日としており、本年度は69年目となる。来たる創立70周年(平成30年3月)に向け記念事業について検討を始める。

2.2 委員会開催について

委員会は4回とし、開催日程場所は以下のとおりとする。

平成28年5月11日(水) 東京

7月 6日(水) 大阪

11月 9日(水) 名古屋

平成29年2月22日(水) 東京

2.3 国際交流事業について

2.3.1 各国工業会が開催する国際会議に参加し、交流を図る。

4月6日(水) ドイツ・デュッセルドルフ ワイヤショウ会場にて開催されるESF国際ばね会議に出席する。各国のばね産業の現況等の情報交換に努める。

2.3.2 海外視察団の派遣について

本年度も実施することし、視察先、実施時期については委員会で審議し決定する。

2.4 統計事業

2.4.1 ばねの生産・輸出・輸入に関する統計を確実に実施し、速やかに機関誌及びホームページ等での公表に努める。

2.4.2 会員の海外事業概況調査を7月頃に実施する。

平成25年から過去3年間継続して概況調査を実施しており、本年度も継続して実施し、調査結果の概要を機関誌及びホームページで公表する。

詳細調査は4年又は5年に1回の頻度で実施する。

2.5 広報活動

(1) 機関誌ばねを例年どおり隔月に6回発行するとともに、ホームページに掲載する。

(2) ホームページの充実を図るべく、各委員会事務局及び支部事務局へ指導・要請する。

(3) 日本ばね工業会プロフィール2016(日文・英文併記)を改訂発行する。

(4) 会員への広報活動の充実のため、実施事業について支部毎に説明会を開催し、広報に努める。

(5) 本年度の各種展示会等への共催・後援名義貸与

テクノフロンティア2016 (一社)日本能率協会主催 4月20日(水)～22日(金)

第8回ものづくりセミナー 日本ばね学会主催 9月9日(金)